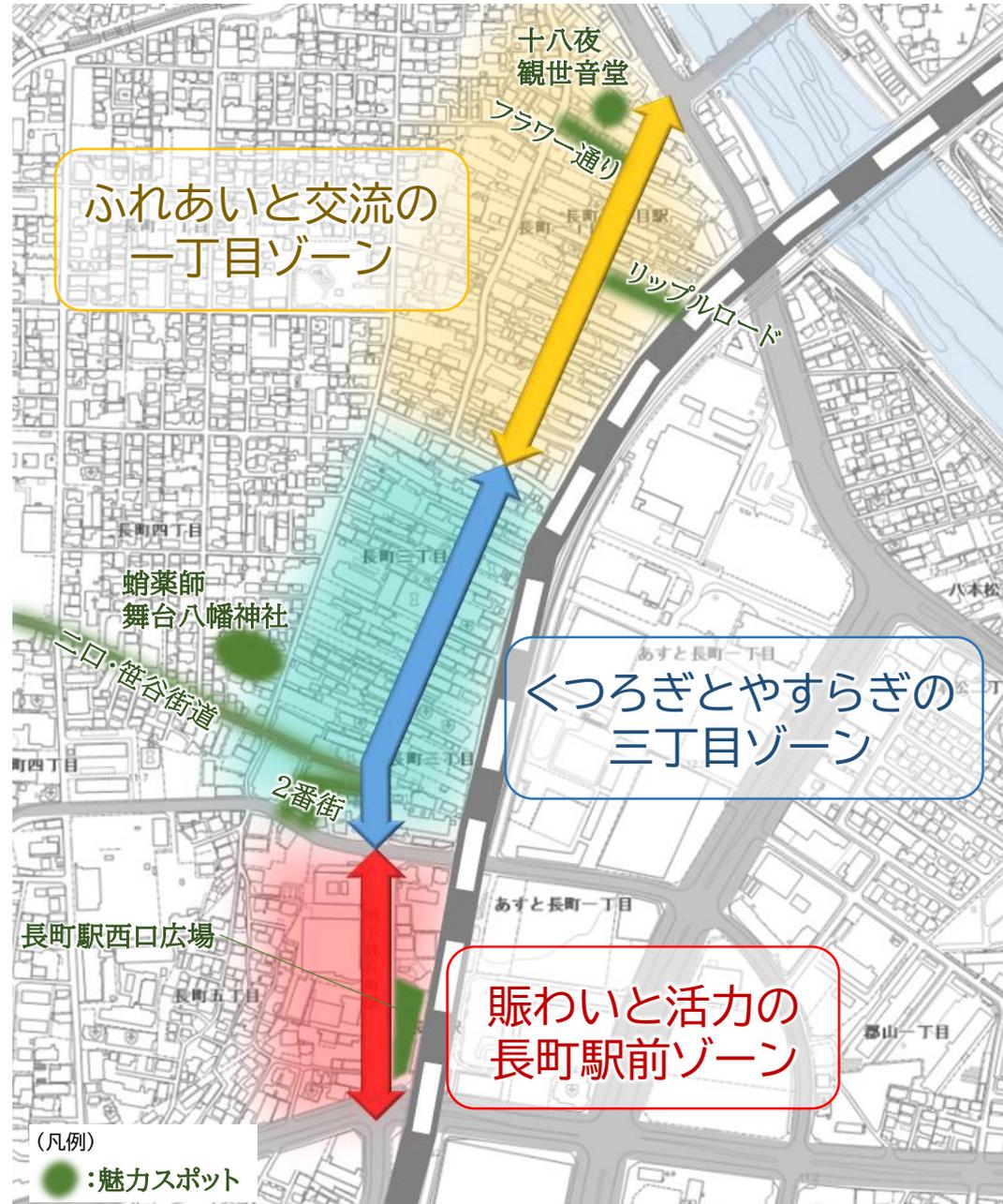


ゾーンコンセプトの検討

ゾーン分け案

利活用ワーキンググループでの主な意見 【3ゾーンに共通する意見】

- ゾーン分けは地域の納得感が必要で、3商店街の区分と一致する分け方が違和感がないだろう
- 人情味、長町らしさをどう表現するかが課題
- 人情味を生かしたこれからの長町らしさを考えることで、将来像がより明確になる
- 商店街エリア内の回遊性だけでなく、あすと長町エリアとの回遊性も考えるべき
- 89ERSとの連携からも回遊性が生まれるため、魅力スポットにゼビオアリーナを追加すべき
- 長町駅前と逆転させ、一丁目を「賑わいと活力」としてもよいのでは
- 3ゾーンとも、時間帯や曜日によって使う人・使い方が変わる
- 消費者目線を重視すべき
- 市民がまちに関与できる手作り感を醸し出すことが大事
- 長町商店街まちづくり憲章の要素を、時代にマッチした形で表現することも大事
- 各ゾーンの名称は、イメージ図を具体化させてから考えてもよいだろう



各ゾーンの空間イメージ案

ふれあいと交流の
一丁目ゾーン



各ゾーンの空間イメージ案

ふれあいと交流の 一丁目ゾーン【解説】

- リップルロードでは住民に身近なイベントが開かれ、地域のふれあいを育む
- 地下鉄長町一丁目駅を利用する通学・通勤利用者も思わず立ち寄りたくなる交流のまち

空き家やワゴンショップを
利活用したチャレンジ
ショップ等、出店に挑戦し
やすい環境

利活用ワーキンググループでの主な意見 【一丁目ゾーン】

- 朝夕の人通りが多い時間帯の仕掛けが必要
- スーパーもあり、日中は子連れの家族も集まりやすい雰囲気がある
- 歴史やふれあいを感じられる店舗があり、そこで子どもに買い物をさせることで、商店街の中で子どもを育てたい

食べ歩きやテイクアウト
飲食を楽しめる

通学・通勤時間帯でも快適
に移動できる、十分な歩行
空間

気軽に活用できる路上の
小さなイベントスペース

各ゾーンの空間イメージ案

くつろぎとやすらぎの
三丁目ゾーン



- 3つのゾーンの中心に位置し、一丁目ゾーンと長町駅前ゾーンをつなぐ要所
- 快適な滞在ができる、落ち着いた空間
- 笹谷街道や蛸薬師、2番街など、一本脇道に入る楽しみも豊富

利活用ワーキンググループでの主な意見 【三丁目ゾーン】

- 笹谷街道、蛸薬師等、裏道の魅力に長町らしさがある
- 付近に小学校から大学まで各種学校があり、笹谷街道を通る学生が多いため、学生に着目した特徴づけもよい
- 一丁目まで人が歩くためには、三丁目で何をやるかがポイントになる

店先空間も活用した
ベンチ等の設置

歩道と一体的な空間の
開かれたテラス席

店先空間を活用しても
ゆとりを持って移動できる
快適な歩行空間

誰もが心地良く利用できる
ベンチなど、歩道上の
くつろぎ空間

各ゾーンの空間イメージ案

賑わいと活力の
長町駅前ゾーン



各ゾーンの空間イメージ案

賑わいと活力の 長町駅前ゾーン【解説】

- バス、地下鉄、JRなど交通結節点で、イベントも盛んに開催される、賑わいにあふれたゾーン
- 長町駅西口広場は駅前の好立地で、長町駅前プラザや歩道空間との一体的な活用も考えられる、魅力的な公共空間

利活用ワーキンググループでの主な意見 【長町駅前ゾーン】

- 駅前には長町の玄関口なので、温かくお迎えする雰囲気も長町らしく表現するのも面白い
- 駅前プラザについて、設置当時の目的を超えた新たな活用のあり方を検討していく必要がある

駅前の好立地を活用し
来街客も見込めるイベント

エリアの案内機能も持つ
開かれた公園施設

駅前広場と連携してイベント
活用できる歩道空間

シェアリングモビリティ
の充実により交通結節
点としての機能を強化

